

第9編 色大島紬の柔軟及び艶消し処理法

この処理は合成染料で染色する。色大島紬の地風を柔軟にし、さらに色彩を艶消しする処理法である。

1. 処理剤の調合基準

ア 水10ℓにノンブライト	300g (30g / ℓ)
イ ソーダ灰 (途中で添加)	4g (0.4g / ℓ)

2. 溶解法

上記(1)の水10ℓにノンブライト300ccを常温液(20℃)で良く攪拌すると、約1時間で白濁液から透明液になる。

⊕ 透明液にならないと効果はない。

3. 処理法

透明になった時、あらかじめ水で浸めし、絞った糸を繰り入れ、常温液で20分間処理。その後上記(2)の液に上記(1)イのソーダ灰を加えて、攪拌し糸を入れて操作し、この液で20分間処理する。

4. 昇温処理

上記液で操作しながら、25分程度で60～65℃になし、この間糸を操作後水洗いしないよう、そのまま脱水、乾燥する。

5. 蒸熱処理

乾燥後、10～15分蒸熱処理する。